

# いきがい

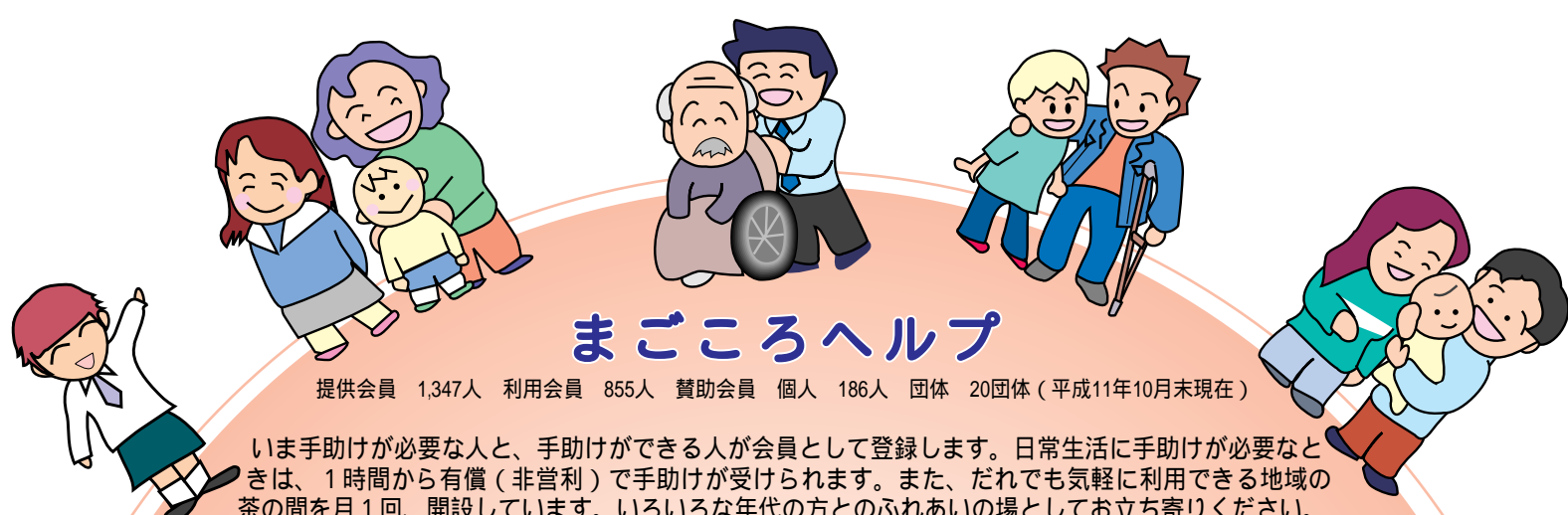
健康で明るい生活を送ることができるような社会づくりを目指します。



**障害者生活支援センター**

窓口	開設日	時間
総合福祉会館 248-7181	毎週 火・土曜日	午前10時 ～午後4時
分室・ほっとスペース 小計1-30-2 232-7245	毎週 月・金曜日	午後1時 ～午後6時

**障害者生活支援センター**  
障害者の悩みなどに、単なる助言や情報提供だけでなく、地域で生活を送れるよう自立と社会参加を支援することを目的に相談窓口を2カ所設けています。  
総合福祉会館総合相談コーナーでは、コーディネーターが相談に対応し、必要に応じて障害のある相談員が対応します。また「ほっとスペース」では、障害のある相談員が常駐し、同じ視点に立ったアドバイスをしています。  
このほか、いろいろな話をしながら情報交換するための話し相手として、お気軽にご利用ください。



## まごころヘルプ

提供会員 1,347人 利用会員 855人 賛助会員 個人 186人 団体 20団体 (平成11年10月末現在)

いま手助けが必要な人と、手助けができる人が会員として登録します。日常生活に手助けが必要などきは、1時間から有償(非営利)で手助けが受けられます。また、だれでも気軽に利用できる地域の茶の間を月1回、開設しています。いろいろな年代の方とのふれあいの場としてお立ち寄りください。

会員の種類	年会費(4月～3月までの1年間有効)	利用するとき
提供会員	1,000円	18歳以上で、家事・介護を必要とする方の手助けができる方
利用会員	2,000円	日常生活で手助けを必要とする方
賛助会員	2,000円	今のところ利用や提供活動はできないが、まごころヘルプサービスを支援したいと考えている個人・団体・企業
個人	10,000円	
団体・企業		

～利用するとき～  
介助・介護・家事援助、散歩・産前産後の援助など・・・1時間880円  
2時間目以降600円  
提供会員の交通費は利用会員負担  
配食サービス(まごころ夕食)・・・1食 710円

地域の茶の間「八千代」  
開設日時 第3土曜日 午前10時～午後3時  
場所 新潟貯金事務センター2階(八千代1)  
茶菓子・食事は実費

問い合わせ まごころヘルプ室(248-7175)

## ボランティア活動

新潟市では、現在約300グループ、7000人の方がボランティア活動をしています。内容は、病院や施設での話し相手や、体の不自由な人の作業の手伝い、給食サービスなど実にさまざま、それぞれの地域において活動をし、助け合っています。  
市では、ボランティア団体がより広い活動を展開できるよう、支援をしています。



## ボランティアセンター

「ボランティアを始めてみたいけれど、どうしたらいいの?」と関心があっても、実際は参加の機会・きっかけがつかめないという人は意外に多いのではないのでしょうか。  
そこで、気軽に楽しくボランティア活動ができるよう、各種講座を実施するほか夏休みには、学生を対象にボランティア体験学習も行うなど、きっかけづくりに努めています。

問い合わせ 新潟市社会福祉協議会ボランティアセンター  
(243-4370)

# ふれあい

安心して幸せに暮らしていくためには、地域社会全体の助け合いや、温かなふれあいが大切です。市民の皆さんによる、さまざまな福祉活動をはぐくみ、人材育成のお手伝いをするなどの支援活動を行っています。

## 総合福祉会館



車いすの高さでも利用しやすいよう、手すりは2段式になっています



機能訓練用プール

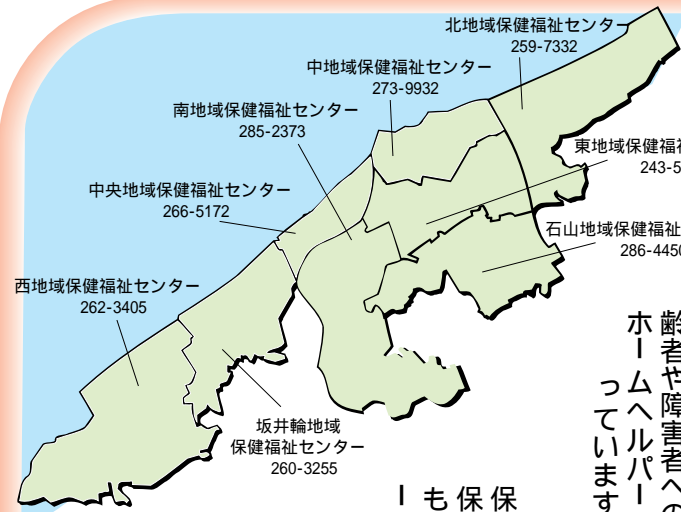


多目的ホール

障害者・高齢者・ボランティアをはじめ、市民の皆さんが福祉活動に積極的に参加することのできる拠点施設です。  
館内には、専用の車いすに乗ったまま入ることのできる機能訓練用プールや、車いすでバスケットボールなどができる多目的ホールなどがあり、赤外線補聴システムや音声誘導システムなど障害者や高齢者が利用しやすいよう、さまざまな工夫が施されています。  
また、この会館を拠点として、手話・要約筆記、障害者や高齢者との交流など、数多くのサークルが活動を行い、ボランティアの輪を広げています。

# あんしん

高齢者や障害者はもちろん、家族の皆さんがゆとりある生活を送ることができるよう、だれもが住みなれた地域で安心して暮らすため、福祉制度の充実や在宅での介護を支援する施設の整備を進めています。



来年4月からの介護保険導入に伴い、介護保険に関する相談なども地域保健福祉センターで行います。

保健・医療・福祉との連携の拠点施設です。センターには保健婦・ケースワーカー・福祉士が配置し、保健と福祉を一体的にサービスを提供しています。このように施設を市内8地区すべてに整備している市は、全国的にもまれです。保健サービスは健康相談、健康相談、健康教育など、また、福祉サービスでは在宅福祉サービスの相談や利用申請の受け付けのほか、高齢者や障害者への保健婦訪問指導と、ホームヘルパーの派遣を一体的に行っています。

## 地域保健福祉センター

## ホームヘルパー

日常生活を営むのに支障のある高齢者や、重度障害者の家庭に、ホームヘルパーを派遣し、食事や入浴の世話・掃除など身の回りのお世話をします。  
現在、ホームヘルパーは年々増加が図られ、派遣時間帯の拡大や、年末年始・休日など、利用者の状況に応じた派遣ができるよう体制を整えています。また、深夜でも各家庭を訪問し、寝たきりの方の排せつ介助、体位交換などを行っており、在宅介護の中でも負担の大きい、夜から朝にかけての時間帯もカバーしています。

## あんしん連絡システム

一人暮らしの高齢者や、重度障害者が、緊急時にペンドラントを押すと、自動的に「あんしん連絡センター」に通話されるシステムです。受話器を取らなくてもセンターとの相互会話ができます。センターには、福祉専門のスタッフが24時間体制で待機して、緊急連絡先への連絡や、場合によっては介護の専門職員を派遣したり、救急車の手配をします。また、週一回、曜日を決めて電話をかけて安否の確認をするほか、各種相談にも応じます。

問い合わせ 高齢者福祉課(内線2654)  
障害福祉課(内線2624)  
地域保健福祉センター

## お世話のしおり「栄寿」

高齢者やその家族が安心して暮らすための、さまざまな保健・福祉サービスを紹介しています。在宅介護支援センターなどの一覧や、生活の中で直面する場面ごとに具体的なサービス内容を掲載しています。お世話のしおりとしてご利用ください。



配布窓口 高齢者福祉課、在宅介護相談コーナー(総合福祉会館内)、地域保健福祉センター、地区事務所、在宅介護支援センター

## 在宅介護支援センター

市内19カ所にある在宅介護支援センターでは、在宅の高齢者に関する保健や福祉などの相談に、専門のケースワーカーや看護婦が24時間体制でお応えしています。介護の手を離せない家庭には訪問し、ご本人や家族の状況や家の様子などに合わせたアドバイスをするなど、センターには介護に必要な機器や用品の展示コーナーもありま



在宅介護支援センター「有明園」看護婦 古田満智子さん

「とにかく、家族で抱え込まずに、一度来てみてください。なかなか、家の中のことを相談することに抵抗がある人が多いようですが、相談してみれば、いろいろな方法が見えてきます。私たちがアドバイスをすることで、家族が優しく思いやりのある介護が続けられればな...と思っています。」

## 老人憩の家

老人憩の家は、市内に32カ所あり、お風呂に入って健康づくりをしたり、気の合った仲間との憩いの場として親しまれています。踊りやカラオケなどのクラブ活動も盛んで、60歳以上の方ならどなたでも無料で利用できます。



問い合わせ 高齢者福祉課(内線2655)

## シルバー人材センター

高齢者が、地域・職場において長年培ってきた経験や知識・技能を発揮できるように就業の確保に努めている団体です。  
健康で働く意欲のあるおおむね60歳以上の方ならどなたでも会員になれます。  
会員は、仲間づくりと自らの生きがいを目的に、障子張り、植木のせん定、教師OBによる補習教室などを行っています。

問い合わせ (社)新潟市シルバー人材センター(241-3536)

## 高齢者「さわやか健康づくり」

生涯を通して寝たきりにならず、健康で生きがいを持ち、住みなれた地域で生活できるように行っています。週一回継続的に、高齢者体操や健康指導、栄養指導を行っています。



## 長寿社会の手引き

高齢者のための福祉サービスを項目ごとに簡単にまとめたものや、老人憩の家などの一覧を掲載したパンフレットです。仲間づくり、生きがいづくりの手引きとしてご利用ください。

問い合わせ めいせいデイサポートセンター(231-6210)

## 配布窓口

高齢者福祉課 地区事務所